

令和3年5月18日

令和2年度政務活動のあらまし

品川区議会自民党
幹事長 石田 秀男

品川区議会自民党は、8名で組織しています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症により、オリンピック・パラリンピックの開催延期や緊急事態宣言の発令などほとんどの行事が中止となる1年となりました。

令和2年3月30日には新型コロナウイルス感染症対策の第1回緊急要望を濱野健区長に提出。その後、6月までに3回提出致しました。

そして、日頃の行事が中止されるなか、区民の皆様の声をお聞きするため町会・商店街・高齢者クラブの皆様にアンケートを行ない、約200通のお声を頂きました。また、7月には各種団体とのヒヤリングを行い55団体の皆様からご意見ご要望を頂きました。

(コロナ禍でしたので40団体は書面で、15団体は感染症対策を講じて会議室で行ないました。)

その後、政務調査会の検討の結果、10月に173項目に亘る「令和3年度予算へ向けた政策要望」を濱野区長に提出致しました。

令和3年度予算におきましても、我が会派から要望した内容が数多く取り上げられ実現しています。

我が会派が緊急要望などを行ないコロナ禍で実現した主な内容は、区民一人に3万円(中学生以下5万円)を支給、介護従事者全員にPCR検査の実施、区役所内にPCR検査センターの開設、PCR検査の全額助成、6年生と9年生の思い出づくり事業の実施、区内共通商品券プレミア率30%などであります。

広報活動として広報誌も緊急に4月2回発行し、その後も「品川区議会自民党広報誌」を2回発行し、区民の皆様にご情報をお届けしています。区内各種団体の皆様には定期的に広報誌の送付を行なっています。品川区議会定例会の最終日には、会派の議員全員で定例会の内容を含め区政報告を大井町駅前で行なっています。

今後も地域に密着し、区民の皆様にご理解、ご支援いただける活動を行っていくこととお約束し、「政務活動のあらまし」の報告とさせていただきます。